

会議録（案）

会議の名称	西東京市立中原小学校及び西東京市立ひばりが丘中学校建替準備検討協議会（第5回会議）
開催日時	平成25年2月4日（月） 午後2時から午後3時58分まで
開催場所	西東京市立中原小学校ひばりが丘中学校 1階 視聴覚室
出席者	<p><委員>前島京、杉原明子、一井靖子、吉村美穂子、浜口ひろみ、門馬晶子、河野美晴、岩崎正敏、池田めぐみ、佐藤裕子、白政幸子、近藤雅代、神山繁樹、野澤幸美、櫻井勉</p> <p><事務局>坂本眞実（教育企画課長）、早川礼成（教育企画課長補佐（企画調整係））、坂本義隆（教育企画課企画調整係主任）、中村幸雄（教育企画課学務係長）、名古屋勇（学校運営課施設係主査）</p>
傍聴者	1人
議題	<p>1 開会</p> <p>2 会議録の確認</p> <p>3 通学区域の検討について</p> <p>4 意見交換等</p> <p>5 次回の開催日程等について</p> <p>6 閉会</p>
会議資料の名称	<p>資料1 西東京市立中原小学校及び西東京市立ひばりが丘中学校建替準備検討協議会（第4回会議）会議録（案）</p> <p>資料2 【田無第二中学校】と【（仮称）第10中学校】との通学区域シミュレーション（案）</p>
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p><○発言者：発言内容></p> <p>開会</p> <p>議題2 会議録の確認</p> <p>○会長：前回第4回の会議録（案）について、訂正すべき箇所などがあれば発言願いたい。</p> <p>○会長：何も無いようなので正式な会議録とする。</p> <p>議題3 通学区域の検討について</p> <p>○事務局：資料2について説明。</p> <p>○会長：14頁右側は第10中を第二中に訂正をお願いする。事務局から資料説明があったが、【田無第二中学校】と【（仮称）第10中学校】との通学区域シミュレーション（案）を見てご質問・ご意見等のある方は発言願いたい。</p> <p>○委員：新しく学校を建てるにあたり、どの学校も同規模・生徒数が望ましいという前</p>	

提で考えるのが良いのか。中心に考えるものがあると考えやすい。新しく建てるという事で大きめに建てればうまく使って行けるという事があるのか。

○事務局：通学区域は通学距離・キャパシティー・人数の均等・分かりやすさなどを総合判断していく。第10中学校をどの規模で建てるかはまだお示し出来ないが、大きな規模で建てるのは難しいと思われる。それを前提にしてほしい。

○会長：第二中が各学年6クラスで上限として目安に考えれば良い。他に意見等ある方は発言願いたい。

○委員：平成33年度の第10中の予定が19クラスになっているが、もし19クラスになったら大丈夫なのか。

○事務局：今回は通学区域の見直しは考えていない。中原小学校の仮校舎という事で中原小学校の人数を収容できるくらいの大きさを確保しないといけない。それを考えると19教室は大丈夫である。

○委員：新しく建つ学校は大きな規模ではないという事だったが、ひばりが丘中学校は体育館が広いなど、誇れるものを残す形で第10中学校を立てて欲しいと思っているが。予算がないという事だが、今のひばり中を売却することも考えているのか。そこに住宅が建てば住民が増えて中学生も増えるかと思うが。

○事務局：新しい土地を買って数百名の子供達が入るといふかなり大きなプロジェクトになるので、市のお金や財源をどのように有効活用するのか考えていく。詳細は決まっていないが、生徒数の推定が狂わないようにするとともに適切な規模の学校としたい。また、中学生の数だけでなく仮住まいする小学生の事も考慮した広さが必要だと市は考えている。建替準備検討協議会としては規模・通学距離・分かりやすさ、重視した方がよい方向性の総意をまとめ、合理的で説得力があり、バランスの良い通学区域の設定を議論していただきたい。また、小学生には線路や大きい道路を渡らせないなどの安全にも留意してほしい。

○会長：平成31年の中原小が24学級になっているので、24学級は入るものは作ってもらえるのかと思う。

○委員：学校に縁のない人にも分かりやすいように「丁」の中は同じ学区域が望ましいが、番地で区域を分けて欲しい。地図よりも番地で分けた方が分かりやすい。

○会長：地域に周知するのにどのような方法が分かりやすいのか、という話で良いか。

○委員：道の左右で別れるのも良いと思うが、文章になると納得できるのか。兼ね合ったところを探すのが良いのではないか。

○事務局：スタートは住所であるが、子供がいなかったり、人が住んでいない地域もある。

○委員：学校選択制が残る前提での話で良いのか。

○委員：学校選択制をなくすことも考慮して話し合いをすると聞いているが。

○事務局：学校選択制を辞める・辞めないという事は、現在明確ではないので、今の時点では続くという事で話をするのが良いと思われる。

○委員：それはいつ決まるのか。

○事務局：今のところいつを目指して結論を出すという事はない。

○会長：この会では学校選択制度が無くても耐えられることを論議してきたと思う。学校選択制度がなくなってもこういう案がある、というものを残していけば役目として責任を果たせるのではないか。また、番地で細かく切らない方が良いのではないか、という案については地図と番地をセットで地域住民に知らせることも必要かと思う。

- 委員：新通学区域は何年度あたりから周知・実施されるのか。
- 事務局：これまでも通学区域の見直しはあったが、影響を受ける方には特に周知期間をとり、分かりやすく周知することを考えている。
- 委員：教室数で、24クラスという事だったが、つくし学級が中原に残るのであればそこも考えてもらいたい。また、質素でも良いので使いやすく安全なものを市民は求めていると思う。市にとっても、市民にとっても、良いものを作っていこうというディスカッションがあった方が、考える幅が絞れるのでそのような資料を示していただきたい。
- 事務局：今年度の会議は今日で最後だが、もう1年検討する期間があり、その先は準備が取れた検討協議会が発足する予定であるが、その都度資料を出すように考えている。また、保護者目線の意見を活用できるようにしていきたい。事務局には施設の担当もいるので、規模や工夫についても資料を出して行くようにする。
- 会長：今日は7通りのシミュレーションについて意見をいただいているが、他に意見があれば発言願いたい。1グループのナンバー1、2頁、4頁の地図をご覧ください。分かりやすさでは、スパッと切ったものは見た目分かりやすい。凹凸のあるものはなぜかと思った時に説明が書かれていれば理解ができる。また、第10中学校の教室数だが、中原小が一時移ることを視野に入れ、24学級以上のスペースが必要と考えると、人数の割り振りより生徒数の推移を見て判断するのが良いのではないかと感じる。人数の差が一番多いのは1グループの案のナンバー2であるのか。
- 委員：各案をまず規模でみた方が良いのではないかと、また、平成35年度以降の2つの中学の学級数の差が少ない事が大事ではないだろうか。各グループのより良い案を選んでいくのが良いと思う。1グループの中ではナンバー1、2グループではナンバー1か3、3グループではナンバー1がこの資料からではより良いのではないかと。
- 会長：学級規模を均等化していくという観点からみるとそう選択できる。中学校の受け入れとしてはあまり変わらない方が良いのか。
- 委員：どちらでも良いのではないかと。10年後の事なので35人学級が増えればクラス数が増えてくるので、それも視野に入れた方が良い。避難訓練など地域分けは近いほうが良い。また運動会等は同じクラス数の方がやりやすい。
- 会長：具体的な学校をイメージされているようだが、ゴールとして必要だと思う。二中も10中も子供達の活動がしやすい学級数にしたい。

議題4 意見交換等

- 会長：本日の会議は、通学区域に関する事だったが、それ以外に意見・要望等はあるか。順番に発言願いたい。
- 委員：自分自身と会に対して、いったい何をやっているのか、と思う事が多かった。言えない部分が多いと思うが、示して頂かないと議論にならない事が多いのではないかと。
- 委員：工事が始まるのは10年後で実際通う人はまだ生まれていない人達なのだが、今回問題になった地域の人達やもっと若いお母さんなど、該当するような方々にも参加してもらっても良いのではないかと。
- 委員：もやもやとした感じのスタートであった。来年はもう少し固まって来るのだろうが、その地域に通学させるような若いお母さんが参加した方が良いと思う。
- 委員：この会の討論が無駄にならないように、行政として決まっている事は教えていただき議論していきたい。

- 委員：生徒にとって一番良い形で繋がっていけると良いと考えている。
- 委員：小学校で統廃合の話があり、これから小学校に入るお母さんたちはどこの学校に入ったら良いのか、これから自分たちはどこの中学校に行くのか悩んでいる。学区の話の前に統廃合の話で何か分かっていることがあれば教えて欲しい。それを踏まえて学区の話をしたい。
- 委員：ひばり中・田無二中の学区から出ないで欲しいと言われていたのが窮屈だった。西原町の方は、10中が出来たら近くなるのではないかという事だったが、本当にそう思う。また、現在はひばり中に通っている明保中との境に住む子達も関わって来ると思う。その辺りも視野に入れられれば考えが柔軟になると思う。
- 委員：統廃合のことで色々と考えるべきことがある。早めに方向性を決定し周知ができればと思う。
- 委員：子供が小さいと中学生になった時に必要な設備等想像がつかないので、中学生がいるお母さん方がより分かるのではないか。議題によって適切に発言が出来るかどうか分かれると思う。議題によって集まる方々を分けても良いと思う。
- 委員：学区は、他校の生徒とすれ違うことなく、全体が同じ中学に行くことが望ましいと思う。また、体育館や校庭を小さくしないでほしい。
- 委員：資料の作成は大変かと思うが、これからも分かりやすく詳しい資料をお願いしたい。
- 委員：何かを前提に色々と考える事はとても難しい。児童・生徒の人数は均等が良いという事は分かったが、あまり数字に縛られずに子供達にとって良いものを作る事を目指して話をした方が色々とヒントが出てくるのではないか。
- 委員：良い案を出して子供達が楽しく通える学校を作っていきたい。ただ、具体的な市の考え方を示してくれれば、話がしやすいと思う。
- 会長：ご意見をありがとうございました。事務局より何かあるか。
- 事務局：今年度の準備検討協議会でご意見いただきありがとうございました。小規模4校統廃合については、年明けに方向性を示す予定だったが、12月に陳情があり、それをうけて意見聴取をしながら検討を進めることになりましたのでご報告します。
- 事務局：来年度だが、引き続き委員を引き受けていただくようお願いしたい。平成24年5月25日から1年任期となっているが、教育長に報告する日までとさせていただくよう要綱を改正させていただきたい。時間等都合がつかない場合はご相談いただきたい。
- 会長：積み重ねていけるので無理がなければ引き続き委員をお願いしたい。

議題5 次回の開催日程

○事務局：別途日程調整をしてご案内をする。また、平成25年1月1日以降、復興特別所得税を徴収することになったのでお知らせする。

閉会